

小平町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

小平町は、北海道の北西部、留萌振興局管内の南部に位置し、面積は627.22㎡であり、留萌管内においては最大規模の行政区域を有している。小平市街地内や小平町の東部に位置する達布地区に至るまで、広範囲に渡る公共交通となっているデマンドバスの運行は、地域住民の食料品や生活用品の購入、医療機関の受診や高校通学など、日常の生活を支える基盤となっており、地域住民が住みなれた地域で安心して快適な暮らしができるよう、地域内フィーダー系統確保維持事業により移動手段の提供を図るものである。

生活交通確保維持改善計画の目標

運行エリア内に居住する住民の通学、通院、買い物等の移動手段として欠くことのできない地域内フィーダー系統を維持・確保するとともに、利用者の増加を図る。

- ・平日1便あたりの利用者数を6人以上とする。
- ・年間利用者数を13,000人以上とする。

平成30年度事業概要

- ・小平町デマンドバス達布線(滝下～小平)の運行

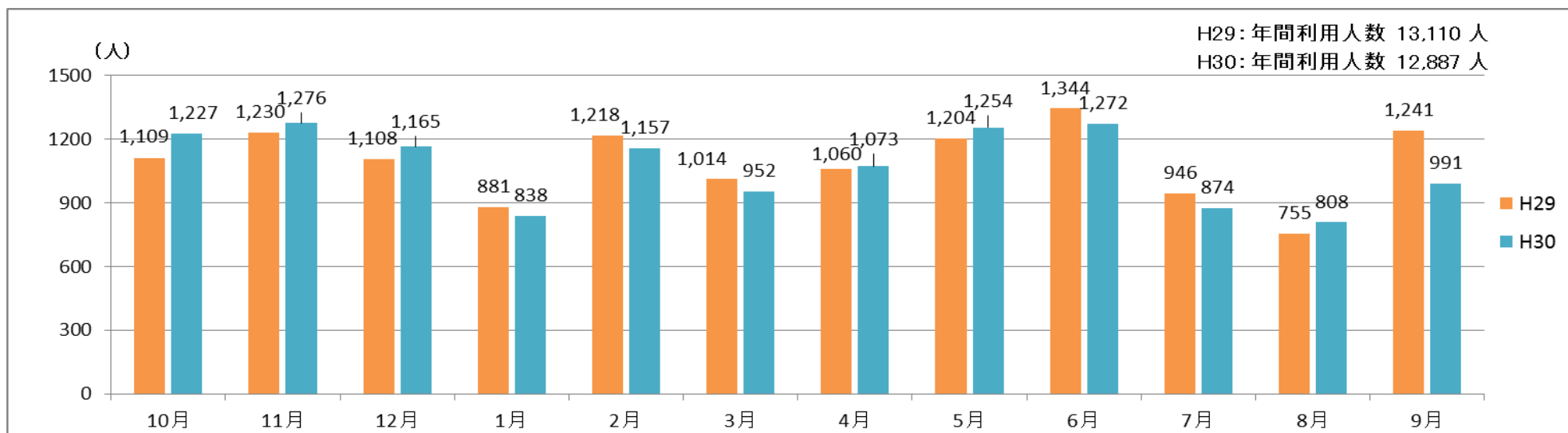
地域公共交通の現況

- ・小平町デマンドバス(町内1路線)
- ・沿岸バス(株)(地域間3路線)
- ・(有)小平ハイヤー
- ・スクールバス(町内4路線)

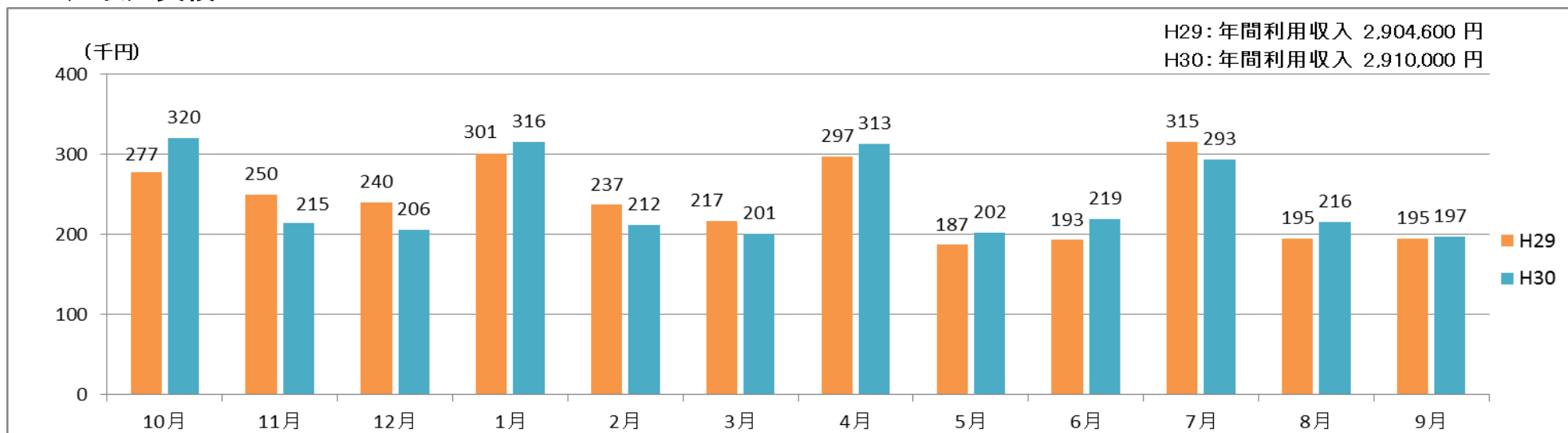
協議会開催状況

- ・平成29年8月24日 第1回小平町地域公共交通会議「平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)」について
- ・平成30年1月17日 第2回小平町地域公共交通会議「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価(案)」について
- ・平成30年6月22日 第1回小平町地域公共交通会議「平成31年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)」について
- ・平成30年8月22日 第2回小平町地域公共交通会議(書面会議)「平成30年10月1日デマンドバスのダイヤ改正(案)」について
- ・平成31年1月16日 第3回小平町地域公共交通会議「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価(案)」について

3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

年間利用実績13,000人以上という目標は、9月の台風21号及び胆振東部地震等の災害の影響があり、達成とならなかった。

一方で、平日1便あたりの利用者数6人という目標は、10人となり達成となった。

7) 事業の今後の改善点

人口減少による利用者の減少も懸念されるが、高齢化や運転免許証の返納など、今後も公共交通の必要性は高いと見込まれる。

幹線系統の接続のためのダイヤ改正はもちろん、住民ニーズに沿って利便性向上の取組を実施していく。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

・平成30年度事業と平成31年度事業を平成31年度に一括で評価を行う。